

◆令和4年度 第2回岐阜連携都市圏ビジョン懇談会 開催概要

日 時	令和5年1月31日(火曜日)
場 所	岐阜市役所 6階 6-1 大会議室
議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度 連携事業の取組状況について</li> <li>・第2期 岐阜連携都市圏ビジョン（案）について</li> </ul>
参加委員	<p>座 長 福士 秀人（国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学）</p> <p>副座長 徳広 圭子（学校法人聖徳学園岐阜聖徳学園大学短期大学部）</p> <p>委 員 恩田 昌直（株式会社十六銀行）</p> <p>委 員 川瀬 勝義（岐阜信用金庫）</p> <p>委 員 川合 宗次（社会福祉法人岐阜羽島ボランティア協会）</p> <p>委 員 木村 治史（公益社団法人岐阜県バス協会）</p> <p>委 員 伊藤 正人（ぎふ農業協同組合）</p> <p>委 員 船田 淳（岐阜商工会議所）</p> <p>委 員 河野 秀明（瑞穂市商工会）</p> <p>委 員 木野村 文男（北方町商工会）</p> <p>委 員 青木 輝泰（本巣市観光協会）</p> <p>オブザーバー 塚原 雅巳（岐阜県清流の国推進部）</p>
議事概要	<p>委員からいただいた主な意見</p> <p>議事（1）令和4年度 連携事業の取組状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜市の広報紙に、「FC 岐阜」「岐阜スウープス」「JA ぎふりオレーナ」の記事が掲載されていた。圏域には、プロリーグや全国リーグで戦うチームが3つあり、バドミントンや卓球など関連する有力なスポーツチームもある。これらが一堂に会して、異なるスポーツ間での交流や圏域住民の健康を増進するため、市民と選手が触れ合う機会があれば良いと思う。</li> </ul> <p>議事（2）第2期 岐阜連携都市圏ビジョン（案）について</p> <p>◆「保育士の合同研修事業」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨今、不適切な保育という言葉も取りざたされているが、保育士の資質向上のためには、市町を超えた研修の機会があることは大変良いことだと思う。オンラインも活用しながら、保育士が知識向上することで、子どもたちの最善の利益につながるとても良い取組だと思う。</li> </ul>

◆「GIGA スクール構想の一層の推進」について

- ・学校と保護者をつなぐ連絡アプリは、特に不登校の子を持つ保護者の方からとてもありがたいという声を聞いている。子どもたちが自分の気持ちを登録するアプリについても、子どもや保護者の声を聞きつつ、良い取組につなげていただきたい。

◆「脱炭素・GX 施策に関する情報共有」について

- ・岐阜市が重点的に進める取組が6つ上がっているが、この中に公共交通の利用という側面を加えていただけるとありがたい。公共交通を利用するとポイントを付与するなど、圏域が一体となって脱炭素に携われると良い。
- ・ロシアのウクライナ侵攻に伴って肥料等の高騰が続いており、また、食料安全保障や食料自給率などの問題も緊迫感を持った身近なものになってきている。国においては、みどりの食料システム戦略やカーボンニュートラルなど施策を実施しており、圏域でも脱炭素に係る事業の中で、地域循環型農業をしっかりと構築していく必要があると思う。

◆「『ココカラ』での情報発信の連携」について

- ・連携都市圏内での PR 活動に加えて、外部での発信も計画してはどうか。
- ・圏域に住むことによって、安全安心な食物が食べられる、食の安全を生活の中で実感できる、そんな魅力も発信して行って欲しい。

◆「公園・緑地等を活用した圏域間ネットワークづくり」について

- ・地域にある子育て拠点や託児相談ができる場所なども、圏域で連携できると子育てにとってありがたい。

◆連携事業の連携について

- ・「SDGs の推進」に係る取組として岐阜市がオリジナルバッジを職員に配付するというものがあるが、これを「公園・緑地等を活用した圏域間ネットワークづくり」や「脱炭素・GX 施策に関する情報共有」とうまく結びつけて、例えば、スタンプラリーのように子どもが何回か公園を利用するとバッジを配付するとか、各学校の SDGs に関連する活動にバッジを配付すると、SDGs に対する取組を家族で話し合うことにつながる。別々に提案されている個々の新規事業を上手く連携させることで、全体的な取組の向上につながるのではないかと。